

子育て支援についてを取り上げさせていただきました。

約6年前、「保育園落ちた日本死ね!」と題した匿名ブログが話題になりました。子育て世代の多くは、いまだに保育の確保に悩まされています。この瀬戸内市も決して例外ではありません。

子育てするなら瀬戸内市を信じて、多大なローンをかかえて瀬戸内市に家を建て、さあこれから頑張っとうといたら、保育園に空きがなく、仕方なく泣く泣く仕事をやめた若いお母さんがいます。

【子育てしやすい街 瀬戸内市】 【子育てするなら瀬戸内市】

今のままではこの看板は下ろさないといけないのではないのでしょうか。来年には新しいこども園ができるかもしれませんが、今しなければいけないことは、今の保育難民を救うことです。

今時点で27人もの待機児童がいます。今のままでは、令和4年度は途中受け入れも不可能ということとなります。

先日地元で若い夫婦に言われました、「としこさん、イノシシや鹿ばかり追いかけて、ぼくらの子どもを守ってよ」と! たしかに保育園だけ見れば、いっぱいいっぱいです。一方で、幼稚園はどこもがらがらの状態で、一日も早い幼稚園・保育園を含めた全体計画が必要と訴え続けています。

私の子育て時代、30年ぐらい前の話になりますが、長船町では小学校に上がる前の一年は、必ずみんな幼稚園に通っていたことがあります。保育園に通っている子どもたちも、最後の一年だけは幼稚園に通ってみんなで揃って小学校に入学していました。一年間、小学校にあがる準備がしっかりできて学年のコミュニケーションがしっかりとれて、私はあれは大変よかったと思っています。

たとえば、来年度だけでもいいので幼稚園を統合して、スペースと人材を確保するのはどうでしょうか。保育にはスペースと人材が必要です。

どんなことをしてでも、令和4年度の待機児童を解消して、本当の意味で子育てするなら瀬戸内市と胸を張って言えるようにすべきだと考えています。

令和4年度保育園・幼稚園状況

<保育園>						<幼稚園>				
保育園名	利用定員	R4申込人数 (第1希望)	R4受入人数	R4受入 合計人数	待機児童 (全園合計数)	幼稚園名	利用定員	R4受入 合計人数		
私立保育園 (あいあい・ルン ビニ・長船ちとせ)	0歳	16	28	41	350	色久幼稚園	170	96	0歳:11人	
	1歳	44	54	52						
	2歳	48	67	65						
	3歳	46	62	59						
	4歳	67	59	60						
公立保育園 (色久・福田・ 今城こども園)	5歳	69	74	73	370	国府幼稚園	160	33	1歳:10人	
	0歳	31	51	36						
	1歳	55	60	51						
	2歳	70	73	64						
	3歳	74	79	73						
公立保育園 (長船西・東)	4歳	76	75	73	190	行幸幼稚園	160	44	2歳:4人	
	5歳	93	74	73						
	0歳	6	22	8						
	1歳	28	22	22						
	2歳	46	29	32						
裳掛こども園	3歳	44	40	46	32	牛窓東幼稚園	80	16	3歳:1人	
	4歳	50	40	41						
	5歳	57	40	41						
	0歳	3	1	3						
	1歳	7	5	6						
	2歳	10	5	6						
	3歳	10	2	3						
	4歳	10	8	8						
	5歳	10	6	6						
		970	976	942	942		570	189		27

目には若葉、本当にさわやかな季節になりました。

私は、3期目の9年目最後となる予算議会(2月議会)を終えました。

今議会は、一年の予算を審議する大切な議会ですが、依然世の中は新型コロナウイルス感染症で、閉塞感につつまれています。

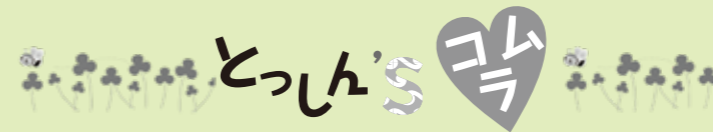
予算につきましては、後ほど説明させていただいておりますので、お読みください。今後も、しっかり取り組んでまいります。

地元【油杉お大師堂】



皆さまには本当にいつも、温かく見守っていただき、そして励ましていただき本当にありがとうございます。

私はいつも、皆さまの声を市政に届けていきたい、その思いでいます。その思いは、今もこれからも変わることはありません。引き続き力強いご支援の程、よろしくお願い申し上げます。



先日心があったかくなる出来事がありました。それはある朝玄関のピンポンで出ると、ずぶ濡れの1年生と卒業したはずのお兄ちゃんが立っていました。

「どうしたん」と聞くと、「心配で見に来たら、車に水はねられたんだ」と。私は、あわててバスタオルで拭いて、車で合流しました。

それにしても、小学校を卒業しても登校班の下級生が気になって見に来てくれたなんて、なんと素晴らしい♡

いつも優しく一年生の手を両手で引いて学校まで歩いてくれていたお兄ちゃんが、卒業しても心配で様子を見に来てくれて、窮地を救ってくれるなんて!

これぞ地域の繋がり! きっと、中学生になっても、地域の子どもたちを守ってくれるはず!

そしてきっと、優しい立派な中学生になるはず! そして、ゆくゆくは私たちを支えてくれるはず! こうした地域の繋がりこそが、今の地域に求められていることですよネ。

2022年3月4日山陽新聞
東備版に掲載されました。

目下俊子氏は、定員超などで保育園や認定こども園に入れられない待機児童が8人いることを踏まえ、対応を質問。市長は、令和4年度中に今城こども園の増改築が完了し、令和5年度には民間こども園が開園する見通しを説明し、来年度には解消できると見通しを示した。市によると、令和4年度当初の希望園に入れられない待機児童は、27人発生する見込み。

令和4年4月18日発行
発行責任者 瀬戸内市議会議員

くさか としこ

〒701-4273
瀬戸内市長船町磯上 569
TEL/FAX 0869-26-6420
携帯 TEL 090-5702-8336
ホームページ



http://www.kusaka-toshiko.jp/

議会報告

ウクライナ支援について

瀬戸内市は、武力攻撃による人権侵害に伴い、苦しんでいるウクライナの方々への人道支援として1千万円を寄付するとして、予算が計上され賛成多数で可決しました。

反対したのは、私と八日市の竹原議員の二人だけでした。

私は、寄付をすることは悪いことではないと思いますが、そのやり方についてどうしても納得が来ないので、予算を削除する修正案を提出して反対しました。

くさかとしこの主張：

海外緊急支援金には、2点の理由で反対しました。

1つ目に、今回の寄付金の根拠が不明確なことです。

神戸市がすでに1千万円の寄付を表明していますが、神戸市の人口は151万5,014人一方、瀬戸内市は3万6,975人42倍です。

財政規模では、一般会計が神戸市が8,869億円瀬戸内市は225億円です。39倍です。

そして、ウクライナ人のルチュクさんは2018年から神戸市の国際課で市長の通訳などを務めており、神戸市は現地の企業との連携や人材交流を積極的に進めてきました。これを見てもわかるように瀬戸内市が1千万円寄付する根拠が見当たりません。

一方、キエフ市と姉妹縁組を結んでいる京都市は、連帯と平和への願いを示すため、市役所前の広場にあるキエフから寄贈された友好記念碑の近くに献花台を設け、市役所や図書館など73カ所に募金箱を置き、3月末まで寄付を募るそうです。こうした活動こそが自治体の本来とるべき姿であると考えます。

またすでに日本政府も、主権と領土そして祖国と家族を守ろうと懸命に行動するウクライナの国民と共に在ることを表明し、また、既に表明した1億ドル規模の借款に加え、困難に直面するウクライナの人々に対する人道支援として1億ドルの緊急人道支援を表明しています。

市民の税金、「財政調整基金」を取り崩し、1千万円もの大金を支出することにした根拠を尋ねると、『市民の方々にも納得してもらえる金額を考え、市民1人あたり約300円程度とした。支援の中で1番最初に必要な水を想定し、およそペットボトル3本分で考えた。』との説明でした。無理やりこじつけた言い訳としか感じられません。

2つ目は、とうてい市民の理解がえられないのではないかとということです。私たち議員は、市民の声の代弁者です。市民の声を行政に届けるのが仕事です。

今回のことを考えた時に、素晴らしいことではありますが、税金を使うことについて市民の同意がえられるかどうかということを一番に考えました。まず、家族に聞いてみました。みんな、税金から出すのはおかしいのではないかと、税金から出すのなら、おれらが払った税金を返してからにしてくれと言われました。

それから、同世代の友達に聞いても、地域のお年寄りに聞いてもおかしいのではないかとという声ばかりで、同意がえられる人はいませんでした。

二元代表制の議会では、議会が認めたら市民が認めたことになるのですが、やはり市民の声を無視することはできないと判断しました。

寄付金は、個人の自由な意思の上に成り立つものであり、反対の声があれば成立しないものと考えます。

その日の議場の休み時間の会話を紹介します。

「この人道支援に反対するもののがしれん。」「〇〇でなしじゃわ。」

この多様性を認め合おうという時代に自分と違うことをいう人に対して、人ではないような物言いはどうかと、がっかりしました。

【くさかとしこ】が見た瀬戸内市の行政！

それでは、行政報告をさせていただきます。

当初予算を家計簿になぞらえて、わかりやすく説明したいと思います。

瀬戸内市の家計簿！（一般会計）

一般会計 225.1億円
合併後最大規模予算 7.5億貯金繰入
特別・事業会計 180.9億円



詳細は、議会だより・広報にも記載されていますので、そちらもご覧下さい。

今年の地方交付税は、
16.1%増の、47.2億円
市債が30.4億円
そのうち
財政調整基金の取り崩しが、
7.5億円

今回の予算の中で大きなものは

- ・ JR3 駅の整備に 約 4 億 5 千万円
- ・ 庁舎再編に 約 5 億 5 千万円
- ・ 火葬場整備に 約 4 億 5 千万円
- ・ 幼稚園・小中学校整備に (長寿命化工事、トイレ洋式化) 約 8 億 8 千万円
- ・ 邑久スポーツ公園整備、冒険の森整備に 約 2 億円
- ・ こども医療費無料に 約 1 億 8 千万円
- ・ 邑久のこども園整備に 約 1 億 9 千万円
- ・ 0・1 歳児向け育児用品の購入費助成に 約 1,600 万円
- ・ 備前長船刀剣博物館 駐車場整備・イベントに 約 1 億 7 千万円
- ・ 文化財団運営支援に 約 700 万円
- ・ 有害鳥獣対策に 約 5 千万円
- ・ 市道開田線に (村田製作所から福元) 約 6 億 4 千万円
- ・ 前島新フェリー造船に 約 1 億円
- ・ 長船刈-池ノヲを刈池ノヲ-かもめに統合 約 3 億円
- ・ 第 2 宮下産業団地整備に 約 8 億円
- ・ 公共交通に (既存 6 路線 + 東備バス廃止に伴う市営バス化) 約 1 億 4 千万円 etc...

収入

	(億円)	令和3年度	令和4年度
給料	基本給(市税)	56.7(27.2%)	56.1(24.9%)
	諸手当(地方交付税など)	52.3(25.1%)	58.8(26.1%)
	奨学金、助成金(国・県支出金)	28.9(13.8%)	35.2(15.6%)
	ローンの借入金(市債)	37.0(17.7%)	30.4(13.5%)
	パート収入など(その他)	34.0(16.2%)	44.6(19.9%)
	合計	208.9億円	225.1億円

支出

	(億円)	令和3年度	令和4年度
	家族の医療費、保育料など(扶助費)	27.7(13.2%)	29.1(13.0%)
	車や家電製品の購入費など(普通建設事業費)	48.5(23.2%)	49.1(21.8%)
	食費(人件費)	39.0(18.7%)	40.1(17.8%)
	光熱費、水道代、通信費、家賃など(物件費)	24.7(11.8%)	31.9(14.2%)
	ローンの返済(公債費)	18.5(8.8%)	18.7(8.3%)
	子どもへの仕送り(繰出金)	17.5(8.4%)	17.8(7.9%)
	その他(補助費など、その他)	33.1(15.9%)	38.4(17.0%)
	合計	208.9億円	225.1億円